

『日本の伝統芸能講座～来て・観て・学んで・やってみる～』



総参加者数

49 名

事業概要

まちの歴史を知ることは、まちづくりを考える上での第一歩となる。また、まちづくりを考える上で、歴史から浜松らしさを学び、未来を繋げていくことは、とても重要な視点であると考え。浜松市の歴史と古くから伝わる伝統芸能には、私達の暮らしと密接な関係があるにも関わらず、そのような伝統芸能を学んだり触れたりする機会はほとんどない。さらに市民活動団体の活動分野でも西洋音楽を学ぶ場はあっても、日本の歴史ある和楽器を使用した伝統芸能の活動をする団体は少ない。

今回の講座を通して、浜松の伝統文化を理論的・体系的に学び、音楽の街浜松らしさがあふれるまちづくりに取り組む人材の創出と地域の活性化に寄与する。

▶ 実施日時

第1回：2018年10月21日(日) 13:30～15:30

第2回：2018年11月11日(日) 9:30～11:30

第3回：2018年11月25日(日) 14:00～16:00

内容

第1回は、『能楽～お囃子のおはなし～』と題し、中部協働センターとの連携で、能楽を鑑賞しながら、能楽に使用する和楽器を体験する講座を実施した。

第2回は、『日本音楽 箏 はじめ』と題し、箏について歴史から学び、「さくら」を参加者で演奏した。参加者は6名と少なかったが、実習では一人ひとり、講師の方に時間をかけて教えていただき、充実した時間となった。

第3回は、『能の世界』と題し、実際に舞台上に立っていた講師の方に、能について登場人物や舞台の絵の意味など、普段聞かないような知識を学んだ。体験の内容は、詩の読み上げや、基本の所作を扇子を持ちながら実践した。

全3回を通して、日本の伝統芸能の歴史を学びながら、体験をするという日常生活でなかなか体験できないような内容に、参加者も満足している様子であった。

▶ 実施場所

第1回：中部協働センター

第2回：浜松市立高等学校

第3回：浜松市市民協働センター

▶ 講師

第1回：やをのま会

第2回：NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会
(吉田理世氏・吉田道美氏)

第3回：前田尚廣氏

参加者の声

【日本音楽 箏 はじめ】

- ◆有名な曲「さくら」がなんとか弾けて大変うれしいです。
- ◆楽しかったです。わずかな時間でさくらが弾けて、うれしかったです。また機会があれば挑戦したいです。

【能の世界】

- ◆素晴らしい企画をありがとうございました。本物に触れ感動いたしました。
- ◆実践がもう少しやりたかったです。
- ◆楽しかったです。日常生活から離れて、伝統芸能に触れることが出来ました。伝統奥深いものでした。ありがとうございました。
- ◆とても面白かったです。基本的なことを意味も添えてお話していただいたので「そうだったのか」と腑に落ちることが多くあったという間に時間がたちました。

成果

「伝統芸能」という視点で浜松市の歴史や音楽のまちづくりを学び、まちづくりに取り組む人材の発掘を期待したが、思った成果には繋がらなかった。

一方で、今回の講座では、これまで当センターの講座や活動に無縁だった方々がほとんどであった。センターについて知っていただく良い機会にはなった。

来年度は、市民活動に触れながら、次のアクションに繋がるようなプログラムを設計したい。